

一般教育訓練明示書

講座の名称	創発科学研究科創発科学専攻(博士前期課程)		
実施方法	①通学 (昼間・夜間・土日) ※入学を希望する系領域で確認してください。		
指定講座番号(15桁)	3720035	—	2210012
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象 講座の指定期間 令和10年 3月 31日まで	過去一 年の講 座実 績	入講者数(累積) (140人) 修了者数 (146人)
年月日			
訓練期間	ヶ月	総訓練時間	時間
1. 教育訓練目標			
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		学位の取得:修士(教育学、法学、経済学、工学、危機管理学、学	
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		香川大学大学院	
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		創発科学専攻(博士前期課程)に2年以上在学し、32単位以上を習得し、かつ、必要な研究指導を受け、在学中に学位論文を提出し、その審査及び最終試験に合格しなければならない。	
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		教育関係業界、企業の法律部門・管理部門、研究開発部門、公的機関の管理運営部門、技術部門	
2. 教育訓練の内容			
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名	
共通科目	120	—	
専門科目	240	—	
特別研究	120	—	
3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)			
①受講するに当たって必要な実務経験等	勤務先から派遣される者、2年以上の勤務経験を有する者、大学卒業後2年以上経過する者(ただし、他の大学院(研究科)へ進学した者については、修了等によって当該大学院から離籍後2年以上経過した者)については、入学者選抜にあたり、社会人特別選抜試験を受験可能とする。		
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	学部卒業以上 等		
③その他			

一般教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度内の受講修了者数	146	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	146	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	146	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数		人			

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数		136	人		
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	6	人	②A: 就業者計	9人
	2 非正社員、派遣社員	2	人		
	3 その他の就業(自営業等)	1	人		
	4 非就業	127	人	②B: 非就業者計	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	5	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	9人
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(1	人		
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	3	人		
④ 受講後の就業形態	1 正社員	6	人	④A: 就業者計	8人
	2 非正社員、派遣社員	1	人		
	3 その他の就業(自営業等)	1	人		
	4 非就業者	1	人	④B: 非就業者計	
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	1	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下)	8人
	2 1割以上3割未満増加した	1	人		
	3 1割未満増加した	1	人		
	4 変わらない	5	人		
	5 1割未満減少した	0	人		
	6 1割以上3割未満減少した	0	人		
	7 3割以上減少した	0	人		
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	25	人	⑥の回答数合計	155人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	2	人		
	3 社内外の評価が高まる	3	人		
	4 早期に転職・再就職できる	1	人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	13	人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	13	人		
	7 趣味・教養に役立つ	19	人		
	8 その他の効果	23	人		
	9 特に効果はない	56	人		
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	121	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	127人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	2	人		
	4 就職していない	4	人		
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	29	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	132人
	2 おおむね満足	20	人		
	3 どちらとも言えない	80	人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満	3	人		

(3)受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法

・修了要件単位数(32単位)を満たし、修士論文審査及び最終試験に合格すること。
・審査委員会及び教授会によって審査の実施や判定・認定を行う。

(通信制講座の場合)
スクーリングの実施場所、時期、期間・回数

—

6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法

【基準】

1. 共通科目: 8単位以上を修得(必修6科目を含む)していること/2. 専門科目は合計8科目16単位以上を修得していること(選択したユニットから6科目12単位以上を修得し、さらに、選択したユニット以外の科目から2科目4単位以上を修得していること)。
/3. 特別研究: 2科目8単位以上を修得していること/4. 1~3により総計32単位以上を修得していること。さらに、修士論文審査に合格すること。さらに、最終試験に合格すること。

※授業科目は、レポート、筆記試験等による成績評価を通じて到達度を把握、測定する。

【時期】

修了認定の時期: 主として3月(場合によっては、9月)

一 般 教 育 訓 練 明 示 書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	修士論文・課題研究レポート指導等の個別授業を通じて、具体的な助言・指導を行っている。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	大学のキャリア支援センターが中心となり、情報提供・個別相談を行っている。 資格取得(学位取得、その他)についての相談は、個別授業時に教員が個別授業時に教員が随時行っている。		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	国立大学法人 香川大学		(代表者名: 上田 夏生)
住所及び連絡先	760-0016 香川県高松市幸町1-1	TEL	087-832-1000
施設名称及び施設長名	香川大学大学院		(施設長: 学長 上田 夏生)
住所及び連絡先	760-0016 香川県高松市幸町1-1	TEL	087-832-1000
給付制度担当部署・者	香川大学林町地区統合事務センター学務課		(担当者: 学務課長補佐 安原)
連絡先	TEL 087-864-2114		
一般教育訓練経費	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① +		1,353,600 円
支払い方法			
① 一括払	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		282,000 円
② 分割払	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		1,071,600 円
③ 両方可能		(うち、必須教材費	- 円)
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		- 円
	① 副読本代(税込額)		- 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		- 円
	③ 施設維持費(税込額)		- 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代)(税込額)		- 円
	3. 総額 (1+2) (税込額)		円

〔特記事項〕

入学料は、入学手続(4月)に一括して納付
授業料は、年額535,800円を2学期(第1学期、第2学期)に分割し、それぞれ指定の期日までに267,900円を納付